

(6) デジタル人材の育成・確保

今後、若年労働力の絶対量が不足することが想定される中であって、複雑・多様化する行政課題に対応するためには、DXの実現による変革が必要であり、行政のデジタル化の担い手となる人材の育成・確保が不可欠です。

官民ともにデジタル人材の需給が逼迫する中、今後のDXの進捗に柔軟に対応できるよう、適時適切に人材の育成・確保に取り組んでいきます。

55. デジタル人材の育成

社会情勢の急激な変化に伴う課題の解決を図るためには、DXが鍵となることから、デジタル化の担い手となる人材の育成・確保が不可欠である。

県におけるデジタル人材の育成を計画的・効果的に推進するため、「埼玉県デジタル人材育成研修実施方針」等を踏まえ、求められる職員像や能力を明らかにし、人材育成に向けた取組を推進する。

56. 外部人材も含めた多様な人材の確保・活用(再掲)

公務のみでは得られない多様な経験や価値観を持ち、即戦力の働きが期待できる経験者採用を実施するとともに、DXを推進するための専門人材の採用枠を設けるなど、必要な人材を効果的に採用する。

また、任期付職員としての任用や、契約に基づいたアドバイザー業務の委託など、常勤職員としての採用以外の手法も活用して、高度な専門的知識や経験を有する多様な人材を確保・活用する。